

令和2年度入学生
電気電子工学科 到達目標

育成すべき知識・能力		到達目標
1. 基礎	1-1. 数学	電気電子工学を理解する上で必要な数学の知識を活用できる。
	1-2. 物理学等自然科学	物理学等自然科学の基礎的知識の上に立った論理的思考ができる。
	1-3. 工学基礎	工学に関する基礎知識を工学問題に適用できる。
2. 専門分野	2-1. 回路理論	回路理論の諸定理に基づき、各種直流回路・交流回路の必要な解析・計算ができる。
	2-2. 電磁気学	電気・磁気に係わる諸現象を、数学の知識を活用して体系的に理解し、工学の問題に適用できる。
	2-3. 測定・計測	電磁気学、回路理論の知識を基に電気計測の原理が理解でき、計測機器を活用することができる。
	2-4. 制御工学	フィードバック制御ならびにシーケンス制御の概念を理解し、その基礎技術を活用できる。
	2-5. 物性・材料・デバイス	電気電子材料の基礎知識に基づき、電子デバイスの構造と動作原理を理解し、その知識を活用できる。
	2-6. エレクトロニクス	電子デバイスを用いた各種電子回路の働きと基本的な動作原理を理解し、その技術を活用できる。
	2-7. 電気エネルギー工学	物理・化学現象を利用した発電の原理と電気エネルギーの送配電システムを理解し、工学問題に適用できる。
	2-8. 情報・通信基礎	無線工学、電波法規、信号処理、ならびに情報・通信システムの基礎を理解し、その知識を活用できる。
	2-9. 資格	電気主任技術者等の資格が得られる能力を身につけている。 電気工事士等の資格が得られる能力を身につけている。
3. 汎用的技能 (応用的能力)	3-1. 課題発見・解決力、 論理的思考力	問題解決に必要な情報を収集し、それを基に解決方法を論理的に考えることができる。
	3-2. コミュニケーション・スキル	電気電子工学技術者として必要な対話・発表・討論ができる。
4. 態度・志向性 (道徳的能力)	4-1. チームワーク、自己管理能力	協調性を有しており、科学的・技術的課題に対し、チームワークにより問題設定・解決ができる。自分に与えられた仕事を達成するために、自己の体調・時間を管理することができる。
	4-2. 倫理観	技術者倫理の知識があり、自己の技術行為に責任を持つことができる。
	4-3. 市民としての社会的責任	幅広い視野の上に立ち、社会人としてキャリアを積み、市民として必要な行動、判断が自立的にできる
	4-4. 生涯学修力	時代とともに変化・発展していく社会に対し、常に学び続けることができる姿勢を身につけている。
5. 総合的な学習 経験と創造的思 考力	5. 創成能力(システム設計)	電気電子工学とその他の分野を融合し、新たなものづくりを展開することができる。